

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	三遠南信地域連携ビジョン推進事業	会計	一般会計	事業No.	67	施策順No.	82-001
		事業種別	政策・重点	予算科目	0予算事業		
政策	8 交流と連携が活力を生むまちづくり				課等名	企画課	
施策	82 三遠南信・中京圏の連携推進	事業期間	開始	20	終了	29	

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	三遠南信地域						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかできていない Dほとんど達成できていない	
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度		
	意図	三遠南信地域構成市町村数 (東三河8+遠州9+南信州15)		32	32	32	32		
	対象をどう変えるか	圏域が一体となった自立した地域となる							
	対象をどう変えるか	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度
		推進された重点プロジェクトの数(施策の基本方針分野の数)		1	4	4	4	5	A
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】	三遠南信地域連携ビジョンの各基本方針に基づき、道路や産業等における取り組みが推進されている。								

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	<p>1 三遠南信地域の一体的な振興発展を目的に、平成19年度末に「三遠南信地域連携ビジョン」を策定。 2 平成20年度に三遠南信地域の地域住民、大学、経済界、行政の代表により組織する推進組織を立ち上げ、ビジョンの推進及び進行管理にあたる。 * 本事業は、事業名「三遠南信及び中京圏との交流推進事業」に含まれる位置付けとなるため、予算は見込まないものとする。</p>		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 三遠南信地域連携ビジョン推進会議(SENA:セナ)事務局への職員駐在 2 三遠南信地域連携ビジョンの重点プロジェクト(アクションプログラムを含む)の推進、重点プロジェクトの評価と見直し 3 新・連携組織の検討 4 三遠南信サミットの開催支援 5 推進会議への参加	1 駐在人数 2 会議回数 3 会議回数 4 開催回数 5 会議回数	1 1人 2 0回 3 0回 4 1回 5 4回
23年度実施計画	1 三遠南信地域連携ビジョン推進会議(SENA:セナ)事務局への職員駐在 2 三遠南信地域連携ビジョンの重点プロジェクト(アクションプログラムを含む)の推進、重点プロジェクトの評価と見直し 3 新・連携組織の検討 4 三遠南信サミットの開催支援 5 推進会議への参加	1 駐在人数 2 会議回数 3 会議回数 4 開催回数 5 会議回数	1 人 2 回 3 回 4 回 5 回

3 事業コスト

事業費	特定財源	国庫支出金	(千円)	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項
		県支出金					
		起債					
		その他					
		一般財源		0			
		計(A)		0	0	0	
		正規職員所要時間					
		臨時職員等所要時間					
		人件費計(B)			0		
		トータルコスト A+B			0		

4 事業に対する市民や議会の意見

三遠南信地域の連携強化を求める声がある。(市民・議会)

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	市民や行政が、三遠南信・中京圏域と共通の課題を認識し、協力し補完しあう。	施策の成果指標又はムトス指標	三遠南信・中京圏との都市間交流に参加している市民の割合 三遠南信・中京圏との連携や交流が重要だと思う市民の割合
この事務事業は施策の目的達成にどのようにつながりましたか	4年間の振り返り	三遠南信サミットの開催、三遠南信地域の情報発信、地域資源活用のための社会実験等を通じて、圏域内の交流・連携強化につながった。その中から、浜松市消防ヘリコプターの応援協定の締結や社会雇用創造事業の実施等、新たな地域づくりに向けた地域の融合が進みつつある。また、住民組織の連携が進み、三遠南信サミット2010in南信州の住民セッションにおいて、「南信州交流の輪」が設立された。		
	後期に向けた課題	三遠南信地域を中心とした他地域と、医療・産業・教育・文化等を通してより実用的な連携が必要である。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	三遠南信地域連携ビジョンの推進(三遠南信地域連携ビジョン推進会議への参加・各種事業の実施)、大学連携(豊橋技術科学大学サテライトラボ・フィールドスタディー、学輪IIDA)等を実施するとともに、企業立地促進法に基づく三遠南信地域基本計画の策定や三遠南信自動車道の早期開通に向けた要望活動を行った。		
	後期に向けた課題	平成20年代後半の開通を目指す三遠南信自動車道や大学連携等の実施、三遠南信地域「新・連携組織」による広域連携の実践等、活動分野が多岐にわたる中で、圏域全体をどのように進行管理していくかが課題である。また、三遠南信を中心として、他地域との交流にも取り組んでいく必要がある。		
コストを削減するためにどのような工夫をされましたか	4年間の振り返り	地域内の多様な主体が中心となり、それぞれが連携することで、ネットワーク化が進み、効率的に事業推進が進んだ。また、三遠南信地域ネットワーク会議や飯田下伊那地域の市町村、南信州広域連合の連携によって、それぞれの費用負担が抑えられた。		
	後期に向けた課題	三遠南信地域ネットワーク会議や三遠南信地域地域整備連絡会議へのそれぞれの負担金支出があるため、平成24年度に予定されている「新・連携組織」への移行において、一本化する等の改善が必要である。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	市が三遠南信地域の広域連携に重点的に取り組むことで、当地域の交流人口が増加し、地域産業の活性化につながっている。その他、浜松市消防ヘリコプターの応援協定締結や社会的企業の雇用創出事業の実施が実現し、三遠南信地域に関わる市民が増加した。		
	後期に向けた課題	圏域内の市町村が一体となって進められるような取り組みが不足している。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を発揮するために、行政はどのような働きかけをしてきましたか、又は、配慮してきましたか	4年間の振り返り	①行政、経済界、大学、住民等の多様な主体が連携して進めている三遠南信地域連携ビジョンを中心にして交流を進め、教育文化・防災・産業・観光・交通の分野において、それぞれ連携事業が進められた。 ②三遠南信地域連携ビジョン推進会議(SENA)を中心にして、ビジョンの推進と事業の推進を進めた。		
	後期に向けた課題	①三遠南信地域連携ビジョン推進会議(SENA)に関わる主体が、新・連携組織への機能移行を進め、新組織の中でそれぞれの役割を果たすことが求められる。三遠南信地域を中心にして、中京圏や全国の地域との交流を進める必要がある。 ②各種ネットワークを活用して、交流の場を拡げていくための取り組みが必要である。		
全体を通じて	4年間の振り返り	三遠南信地域連携ビジョンが策定されたことで、三遠南信地域に軸を置いた広域連携が実践されている。また、このような広域連携の母体ができたことで、多方面にわたる連携事業の実施につながった。また、住民団体のネットワーク組織を設立したことで、住民同士の交流が促進された。		
	後期に向けた課題	新・連携組織によって、三遠南信地域がどのような地域運営を進めていくかについて、関係する主体が具体的な検討課題を整理していく必要がある。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input checked="" type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	--	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	-------------------------------	--------------------------------	-----------------------------------